

2021年3月3日

報道関係各位

学校法人立命館
株式会社アキュラホーム

■立命館小学校と株式会社アキュラホームによるSDGs環境授業のご案内■
“林業×SDGs”をテーマに、児童が社会課題解決に向けたプランを専門家に発表
日時：2021年3月15日(月) 11:35～12:20
場所：立命館小学校

立命館小学校(京都市北区、校長:堀江未来)と木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム(東京都新宿区、社長:宮沢俊哉、以下アキュラホーム)は、2月より、立命館小学校5年生全119人を対象に、森林保全活動やプラごみ削減について考えるSDGs環境授業を実施しています。3月15日(月)、立命館小学校において、児童たちが学びを通じて考えた課題解決プラン(アクションプラン)の発表会を行いますので、お知らせいたします。

立命館小学校では、実社会で起こるさまざまな社会問題をテーマに、教科横断型の授業を展開しており、現在社会科の単元では、「林業」をテーマに学んでいます。授業では、アキュラホームが開発し、2019年のG20大阪サミットでも採用された「木のストロー」を事例に、SDGsの理念や目指すゴール、また林業が抱える課題を知り、それらの課題解決に向けた取り組みについて考えていきます。

2月10日(水)に行われたオンライン授業で、児童たちは、アキュラホームの社員から、「木のストロー」誕生までの経緯や秘話、日本の林業が抱える課題、林業とSDGsとのつながりなどについて講話を聴き、身近なストローを通して、SDGsと自分たちの生活とのつながりを強く意識するようになりました。現在は、発表会に向けて、課題解決のためのアクションプランをそれぞれが考え、まとめているところです。

発表会当日は、木のストローを開発したアキュラホーム社長 宮沢俊哉氏、同社SDGs推進室長の西口彩乃氏に加え、林野庁林政部・長野麻子氏、木のストローの発案者である環境ジャーナリストの竹田有里氏がコメンテーターとして参加します。本授業を通して、児童たちの環境に対する意識、SDGsへの理解が醸成されることはもちろん、彼らの素直で自由な発想やフレッシュなアイデアが、林業や社会に大いに刺激を与えてくれることを期待しています。

■「林業×SDGs 社会を良くするアクションプラン報告会」概要

日時：2021年3月15日(月) 11:35～12:20(11:00受付開始)

場所：立命館小学校(京都市北区小山西上総町22番地)

内容：(1)児童たちのアクションプラン発表(代表児童数名)

(2)コメンテーターによる講評 ※コメンテーターはオンラインで参加します。

コメンテーター:(敬称略)

- ・長野 麻子(林野庁林政部木材利用課長)
- ・竹田 有里(環境ジャーナリスト)
- ・宮沢 俊哉(株式会社アキュラホーム 代表取締役社長)
- ・西口 彩乃(株式会社アキュラホーム SDGs推進室室長、広報課主任)

※対面・オンラインともご取材いただくことが可能です。

ご取材いただける場合は、3月12日(金)17:00までにご連絡をお願いいたします。

【ご取材に関するお問い合わせ先】

■学校法人立命館広報課

名和(TEL:075-813-8300)

■株式会社アキュラホーム 広報課

西口(TEL:03-6302-5010)

別紙

■2月10日に行ったオンライン授業の様子



立命館小学校の様子



木のストローの原料となる薄い木のスライス材を
児童にも触れてもらいました。

■木のストローについて

木のストローは不十分な森林管理を問題視し、間伐材の有効活用が必要として環境ジャーナリストの竹田有里氏により考案。環境問題化しているプラスチックごみ問題にも貢献可能なアイテムとして、アキュラホームが開発に着手しました。世界で初めて木を薄くスライスした削り華(けずりばな)を巻き上げてつくる方法で、世界で初めて開発・量産化に成功。現在は地域の木材を使用し、地域の高齢者、身障者の方に製作を担っていただくなど、「地産地消モデル」を確立し、雇用にもつなげています。2019年G20大阪サミット等全ての関係閣僚会合にて採用。第29回地球環境大賞 農林水産大臣賞／グッドデザイン賞／ウッドデザイン賞 林野庁長官賞 等を受賞。2020年10月、扶桑社より書籍「木のストロー」(著・アキュラホーム 西口彩乃)を出版。丸善丸の内本店ビジネス書ランキング1位。(2020年11月)



[立命館小学校]

2006年開校。主体である子どもたちが自ら学び、自らを鍛え、自らを超えて成長していくために、「確かな学力を育てる教育」「真の国際人を育てる教育」「豊かな感性を育む教育」「高い倫理観と自立心を養う教育」という4つの柱に基づき、学力や芸術教育、倫理教育など、人として生きていくうえでの基礎基本の習得を目指している。児童数707名(2021年2月1日時点)。

[株式会社アキュラホーム]

1978年創業。木造注文住宅を手掛け、高品質、適正価格の住まいを提供している。木を活かし、守る活動として「木望(きぼう)の未来プロジェクト」を実施。間伐材でつくった天板を小学校に寄贈し、木育授業を実施している。2018年カンナ削りから着想を得て、間伐材等を活用した木のストローを開発し、注目を集める。社名 株式会社アキュラホーム／代表取締役社長 宮沢俊哉／所在地 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F／従業員数 1,271名(平成31年4月1日現在)／事業 建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング／ホームページ <http://www.aqura.co.jp>